

# 金城 ヨシヒデだより



名護市議会議員 金城善英 議会報告



ごあいさつ

## 議会報告



金城善英 HP

えています。そんなときは、ひとりで悩まずに向けて  
名護市生活支援課「くらしと仕事の応援センター」『さぽんちゅ』への相談を呼びかけています。まずは相談をしましよう。

皆様の益々の「健勝」と「多幸」を心から祈念申し上げます。

未曾有の新型コロナ感染症

が世界を覆い始めて1年以上が経ちました。未だ収束の見通しがつかない日々が続いております。皆様のご健康を心より願っております。

当たり前だった日常生活が激変したこの1年余り、感染拡大を抑えるためにあらゆる行動が抑制され、様々な活動が大きな影響を受けています。

流行を抑えるためには速やかなワクチン接種や有効な治療薬の使用が必須です。安全且つ円滑な実施を望むものであります。

コロナ禍の影響は、子ども、

学生、社会人、高齢者など様々な世代に及んでいます。仕事

を失い収入が減った、アルバイトが減って生活が厳しい、学費が払えず困っているなど、生活困窮に陥る方が増

いて

一、新型コロナワクチン接種事業につ

第202回名護市定例会(3月定例会)は、令和3年3月3日から3月25日までの会期で行われました。渡具知市長による令和3年度施政方針が示されたとともに市長提出議案17件(うち先議案2件)、報告2件、議員提出先議案件1件及び意見書及び決議案各1件、陳情11件、追加議案として、市長提出議案7件、報告1件、議員提出議案1件、意見書案5件、付帯決議案1件が審議されました。さらに陳情3件が各常任委員会へ付託されました。審査の結果につきましては名護市議会ホームページか「なご市議会だより」第131号(6月初め配布)の議案処理結果一覧をご覧ください。

### 3月定例会一般質問から要旨

ここでは、今定例会でのヨシヒデの一般質問の要旨をご報告いたします。

一、公立北部医療センターの早期設置について

質問(1) 円滑な接種を行うための体制整備と実施に向けた答弁 職員、併任1名、専任2名、合計3人を増員し体制強化を図り、円滑実施を図っていく

質問(2) 接種計画で優先順位、接種体制(集団個別)、接種会場、人員確保、備品や設備、送迎体制、ワクチン管理、県外学生や県外出張などで住所地にいない市民への対応について

答弁 国から示されている「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」と同様に進める

質問(3) ワクチン接種円滑化システム(Vaccination system:略称 V-SYS)や新たなワクチン接種記録システムの導入の対応について

答弁 国からの正式なフォーマットが示され次第、対応していく予定

質問(4) 国、県、北部市町村会、医療機関との連携や協力体制について

答弁 今後とも、国、県、北部地区医師会、府内の関係部署と連携や協力体制を取り実施する

質問(5) ワクチン接種予約システムや通知、接種券、予診票などの発送、周知、広報(SNSやホームページ、チラシなど)について

答弁 ワクチン接種予約システムを導入し、電話予約に加え、24時間インターネット上から予約を受けられる仕組みを取り入れる

質問(6) 問合わせや相談体制におけるコールセンターなどの設置について

答弁 予約受付5名、相談員4名体制で対応する

質問(7) 懸念や課題について

答弁 最も懸念していることはワクチンの供給スケジュールで、なるべく早い提示を願う

質問(1) 公立北部医療センター整備協議会等の進捗状況と今後のスケジュールについて(裏面へ)

(1面からつづく)

答弁 次回の幹事会を3月中旬ごろ、協議会を3月下旬に予定している

質問(2) 公立北部医療センター基本構想(素案)

13ページ、10~11行目に「北部医療圏内における地域完結型の医療体制を構築します。」とあります。併せて、地域医療の担い手となる医師をはじめとする医療従事者の定住を促進するためには、住宅施策や中・高一貫進学校の設置を進めるなど北部地域完結型の教育環境の整備が望まれますが、見解をお伺いします。

答弁 北部地域の教育環境の充実にもつながり、医療従事者のみならず、市民全体への効果も見込まれることから、ぜひ、進めていただきたい

### 三、名護市葬斎場の建替えについて

質問(1) 令和3年度施政方針に示された「名護市斎場につきましては、老朽化が進んでいるため、新たな施設整備に向けて基本構想の策定に取り組んでまいります。」とありますが、具体的な考え方をお伺いします。

答弁 施設規模や必要な設備、建設場所等について検討を進めていく。基本構想策定後令和4年度より基本計画の策定、令和5年度に火葬炉選定支援業務、令和6年度に造成設計及び建築に係る基本・実施設計、令和7年度より造成工事、建築・外構工事、火葬炉設備工事を予定、令和8年度中に供用開始を考えている

### 四、脱炭素社会の実現に向けて

質問(1) 昨年、令和2年(2020年)10月26日、菅首相は所信表明演説で「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す。」と宣言しましたが、本市行政や私たち市民はどう取り組めば脱炭素社会を実現できるのか。

答弁 カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量と吸収量を差し引きして実質ゼロに

する考え方であり、それが実現された社会が脱炭素社会であると認識しています

質問(2) 地球温暖化による気候変動対策として太陽光や風力、水力、地熱、太陽熱、バイオマスなど、再生可能エネルギーを最大限導入することが有効であるが、本市の取組について

答弁 本市では住宅用太陽光発電システム設置者へシステム設置に係る費用の一部を補助している。また、次年度より名護下水処理場で発生する消化ガスを民間事業者へ有償で供給し、固定価格買取制度による発電事業にも取組む

質問(3) 「ソーラーシェアリング」の推進について、農地の上にソーラーパネルを設置することで、農作物や家畜の飼育などと太陽光発電の両方を可能にする取組のメリットについて

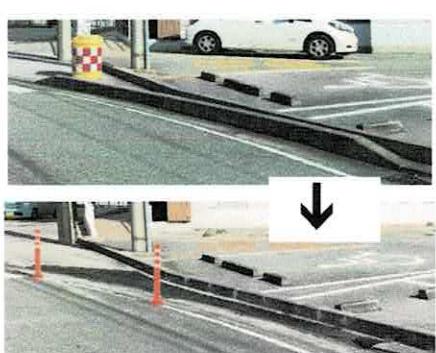
答弁 作物の販売収入に加え、売電による継続的な収入、若しくは自家消費による経営費の削減が挙げられます。また、営農しながら、太陽光発電の併用が可能になった点で「カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現」に向けての取り組みになっています

質問(4) 持続可能な開発目標SDGs達成のための取組について

答弁 SDGsの理念に沿った施策を進めることで、本市のまちづくりに資する地域課題の解決だけでなく、国際目標の達成についても相乗効果が期待できるので、総合戦略においてしっかりと位置付ける

### 五、歩行者を守る安全対策について

質問(1) 21世紀の森公園周辺の安全対策として、国道58号宮里3丁目交差点周辺から国道449号における防護柵の設置について



通行の障害になつていた縁石を撤去してもらいました。白銀橋(西)交差点  
2021年2月27日

やさしく、深く、面白く、役に立つ  
政治を毎日わかりやすくお伝えする  
**公明新聞**を読んでみませんか？

日刊(1ヶ月 1,887円/税込)

激しく移り変わる社会・政治の動きを正確な報道で伝えてまいります。

お申し込みは 金城ヨシヒデ 0980-54-1259

答弁 令和3年度、早期に補修を行う  
質問(3) 視覚障がい者の横断歩道での歩行を助けるエスコートゾーンの設置について

答弁 公安委員会と情報共有し調整する

質問(4) 瑞銀名護支店側名護十字路バス停の名護市産業支援センター側への移設について

答弁 移設先の幅員が狭いため、歩行者の通行に支障が出ないよう配慮する必要があるとの指摘を受けています。現時点では厳しい

### 六、日常生活用具給付等事業について

質問(1) 網膜色素変性症の方の「暗所視支援眼鏡」を日常生活用具給付等事業に追加することについて

答弁 当該製品が日常生活用具としての要件に適合しているのか、効果やその継続性は実際どの程度なのか、給付対象者の要件をどのように設定するかなどの不明確な部分や検討課題があることから、現時点での判断は難しいと考えている